



特集1

「県立美術館に”ミレー館”がオープン!!」

くバルビゾン派の作家たちが描いた自然とロマンに会いに来ませんか? く

— 県立美術館 —

来年の新春1月6日。年明けとともに山梨県立美術館は大きく生まれ変わります。これまでの常設展示室に、装いも新たに「ミレー館」が新設され、更に魅力ある美術館に生まれ変わります。今年の11月3日に開館30周年を迎えた山梨県立美術館は、これまで「ミレーの美術館」として愛され続け、県内はもとより国内外から1000万人を超える来館者を迎えてきました。30年の間には、日本中にたくさん美術館が生まれ、2007年に沖縄県立美術館が建設されたことで、すべての都道府県にもれなく都道府県立の美術館が設立されるまでになりました。

その中で、自らの持つコレクションに多くの来館者が訪れる美術館は希と言われる日本の美術界にあつて、「山梨のミレー」は一つの伝説にもなりながら、名実ともに日本の美術史に大きな足跡を残してきたと言っても過言ではないでしょう。この様にミレーの詩いた文化の種は、今また花開こうとしています。

では、ここで新しく誕生する「ミレー館」について、少し触れてみることにしましょう。読者の皆さんも一緒に新しく誕生するミレー館をイメージしてみてください。はじめにエントランスの大階段を登ると、2階ロビー正面にミレー館の入り口が見えてきます。ミレー館の入り口の壁にはミレーの肖像写真と当時の彼のアトリエの風景写真が来館者を迎えてくれます。そして、館内に一歩足を踏み入れると、そこはアースカラーに彩られた色壁が優しくミレーの作品群を包み込む、新しい展示空間が広がっています。これまでの白一色だった常設展示室のイメージはがらりと変わり、欧米の美術館の雰囲気を感じ取っていただけのことでしょう。ミレー館は、19世紀の美術を現代の空間に再現しようと、他にもあちらこちらに展示の工夫がされています。ミレーの人となりはもちろんのこと、作品の解説にも写真やパネルを使って当時を分かりやすく説明しています。



ジュール・ブルトン  
《朝》1888年  
山梨県立美術館

そして新しい壁面には30周年を記念して購入した作品《眠れるお針子》(表紙絵)が展示され、遂にベールを脱ぐこととなります。この作品は、最初の妻ポーリーヌが病気で亡くなった後、1845年に2番目の妻となったカトリヌ・ルメールをモデルにしたとされる作品です。ミレーが若い頃に多く手がけた裸婦や家庭内の女性の労働を題材に描いた本作品は、これまでミレーの若い時代の作品をコレクションしていなかった当館にとつても、新しい顔になるのではないのでしょうか。この他にも《種をまく人》、《落ち穂拾い》、《夏》や《夕暮れに羊を連れ帰る羊飼》などのミレーの代表作はもちろんのこと、パステル画や版画も展示されています。

次にバルビゾン派の作家たちの部屋へと進んでみましょう。ここはバルビゾンの森をイメージした自然色で壁の色が統一されています。作品の周辺に



アンリ=ジョセフ・アルピニー  
《 陽のあたる道 》1875年  
山梨県立美術館

はバルビゾン派をはじめ、その地の自然、村の様子などが写真や資料パネルでも紹介されています。そして、同じく開館30周年で記念購入されたジュール・ブルトンの《朝》やジュール・デュプレの《海景》、更にアンリ＝ジョセフ・アルピニーの《陽のあたる道》もこの部屋に新しくお目見えします。中でもブルトンの《朝》は、ミレーが描いた「農民画」というテーマから影響を受けた作品で、農民の少女が朝の光を浴びながら農作業の仕事に出かける場面が清々しく描かれています。「仕事に出かける人」という画題はミレーも好んで描いたことから、この二人の画家の共通点も作品を鑑賞する上で、興味を持っていただけることでしょう。

ミレー館を出ると、ここにも新しいスペースが設けられています。ミレー館に隣接したロビーには視覚障害者のための触れて観賞できる作品『手で見えるミレー』が新たに常設展示され、傍らでは解説ボランティアが視覚障害者の方々に鑑賞のお手伝いをします。もちろん晴眼者の方にも障害者理解の一助としてもご利用いただけます。

このように新しく生まれ変わる山梨のミレーワールドに小中学生をはじめ、多くの県民の皆様のご来館をお待ちしています。

今、県立美術館周辺に広がる森とその木々たちは、すっかり葉を落とし、静寂に包まれています。そして、森の片隅にはアンリ・シャピユ作の《ミレーとルソーの記念碑》が初冬の柔らかな日差しをうつすらと浴びて佇んでいます。この碑は、遠い昔に2人が自然保護活動の先鞭を切って、森を開発の手から守った顕彰碑とされています。ミレーやバルビゾン派の画家たちが描いた作品一点点からは、環境破壊や地球規模での温暖化をはじめとする現代社会が抱える様々な問題への重要なメッセージが、遙かなる時空を越え伝わってくるように思えてなりません。皆さんも彼らの作品たちと向き合うことで、忙しい日常を離れ、自分を見つめなおすことのできる素敵な時間を過ごしてみたいかがでしょうか。

“ミレー館” 一般公開：平成21年1月6日（火）～

休館日：1月26日、2月2、9、12、16、23日、3月2、9、16、23日

開館時間：午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

入場料：一 般 五〇〇（四〇〇）円

大・高生 二一〇（二六〇）円

中・小生 一〇〇（八〇）円

※（ ）内は20名以上の団体、宿泊者割引料金

小・中・高校・特別支援学校生は土曜日無料

県内65歳以上の高齢者（健康保険証等持参）は無料

障害者手帳をご持参の方は、ご本人とその介護者1名が無料

特集2

『わくわくイングリッシュ小学校サポート事業』実施報告  
 (文部科学省「小学校における英語活動等国際理解活動推進事業」)

— 義務教育課 —

県教育委員会では、平成19年度からの2か年計画で、次のような趣旨と内容により、本事業に取り組んできました。

◎ 趣旨

小学校における英語活動等の国際理解活動について、指導方法等の確立を図るため、地域にモデルとなる拠点校を指定し、A L T や地域人材等の効果的な活用を含めた実践的な取組を推進することにより、当該地域全体の国際理解活動の水準の向上を図る。

◎ 拠点校における事業内容

ア 英語活動の推進

A L T、地域人材等を計画的・効果的に活用し、児童が英語に触れ楽しむ活動を推進する。

イ 交流活動の推進

他の国の人々との交流やふれ合い等を通じて、外国の文化に慣れ親しみ、相互理解をさらに深める。

ウ 指導法の工夫・改善

授業に充てられる単位時間の指導の流れ、教材・教具の工夫、教員の役割等の指導方法の工夫や改善を目指した実践的な取組を行う。

エ 実践内容の公表

研究内容の公開、資料等の作成を通じ、実

践研究の成果を積極的に公表することにより、研究成果の他校への普及・浸透を図る。

本事業のまとめとして県下6校の拠点校が行った研究内容について紹介します。

■ 北杜市立高根西小学校

○ 研究テーマ

「自ら考えよく学び 生き生きと活動する児童の育成」→英語活動の実践を通して」

○ 研究内容

① 指導法の工夫・改善

・年間計画・指導案や※授業についての共通理解に基づいた英語活動の実践

・学級担任単独あるいはT Tで行う英語活動における英語での「聞く・話す」活動や内容、学習形態のさらなる工夫・改善

・英語活動の教材・教具、研究成果(資料)等、英語活動に関わる学習環境の整備・保管方法

・新しい教育課程の編成に向けての研究

※授業についての共通理解：単位時間の流れを「あいさつ」「ウォームアップ」「メインアクティビティ」「まとめ(振り返りカード)」「あいさつ」とする。その中にゲーム的要素や歌・チャンツ、「Classroom English」「any question」を織り交ぜていく

② 実践内容の公表

・公開研究会に向けての計画・準備・実践及び反

省・まとめ

■ 昭和町立西条小学校

○ 研究テーマ

「コミュニケーション能力の素地を養う指導法の研究」→かわり合いを重視した英語活動の取組を通して」

○ 研究内容

① 英語活動の推進

・他教科の授業、朝の会や帰りの会を利用した「コミュニケーション能力向上」の取組

・DVD等を利用した英語活動「全校インプットタイム」の取組

② 指導法の工夫・改善

・年間活動計画をもとにした英語活動への取組と改善

・学級担任単独で実施する授業の進め方

・複数指導体制が可能な学年でのA L T等との有効な連携方法

・児童の興味・関心等学習状況変容の把握(意識調査、到達度調査の内容と手法開発)

・I C Tの効果的な活用方法についての実践的研究(ハードウェア・ソフトウェアの条件整備、コンテンツの開発)

・英語活動がより楽しく親しみやすくなるような環境条件の検討と整備及び資料の開発(特に、「Story Telling」に適した教材の検討)

・英語活動がより楽しく親しみやすくなるような環境条件の検討と整備及び資料の開発(特に、「Story Telling」に適した教材の検討)

## ■甲府市立甲運小学校

### ○研究テーマ

「かわる みがく 未来を拓く く楽しく学ぶ 英語活動の研究」

### ○研究内容

#### ①英語活動の推進

- ・ 朝学習の時間を活用したVTR教材視聴やチャンツ、全校ミニ集会
- ・ 全校英語集会（テーマに合った歌やチャンツ、ゲームを取り入れた英語活動）

#### ②交流活動の推進

- ・ 外国の友達との交流を体験する活動（デモン使節団歓迎集会）

#### ③指導法の工夫・改善

- ・ 補助教材「英語ノート（試作版）」を活用した授業の展開

- ・ 児童の実態に合った指導計画や授業展開の工夫
- ・ コミュニケーションを図る楽しさを体験させるための指導法の工夫

- ・ 教材、教具の精選と活用

- ・ ALTとのチームティーチングの在り方

- ・ 学級単独の授業の在り方

#### ④実践内容の公表

- ・ 中学校英語教員の招聘と授業公開

## ■笛吹市立春日居小学校

### ○研究テーマ

「主体的に取り組む児童の育成 進んでコミュニケーションを図ろうとする子ども く英語活動を通して」

### ○研究内容

#### ①英語活動の推進

- ・ 子どもたちが楽しみながら英語に親しむことができるよう「聞く・話す」の段階において、

リズムやジェスチャーをとり入れて楽しく活動できる工夫

#### ②指導法の工夫・改善

- ・ 教材・教具の整備方法の検討（フラッシュカードはA4判に統一し、（動物・果物・色・形・スポーツ・動作・曜日）の各分野に整理等）
- ・ 担任とALT・JTE（日本人英語教師）とのTTで行う授業における役割の明確化（担任は、次の展開に移るときの指示や子ども達の様子を観察しながら一人ひとりを支援する等の授業全体をコントロールする役割、ALTは、英語の発音や会話のモデル等の生きた英語を提供する役割や異文化の情報を提供する役割）

## ■身延町立大河内小学校

### ○研究テーマ

「異文化を知り、進んでコミュニケーションしようとする子どもの育成 く英語活動を通して」

### ○研究内容

#### ①英語活動の推進

- ・ 振り返りカード（児童用）を活用し、自己評価の観点を示し、目的を持って英語活動に参加できるように工夫

#### ②指導法の工夫・改善

- ・ 単位時間ごとの活動内容の流れ、時間配分、学習形態の検討
- ・ 授業で扱うフレーズ等の言語材料を利用したゲームを取り入れた英語活動の工夫・改善
- ・ 教材の開発と教具の準備、またそのわかりやすい保管の方法
- ・ 担任が主体的に日常の英語活動に参加するためのALTとの効果的な打ち合わせ方法
- ・ カリキュラムの検証と次年度に向けての改善方法（『活動後の反省及び来年度に向けて』の

記入・活用（実施日、本時のねらい、活動内容、評価、児童の反応等を記録したもの）

## ■上野原市立甲東小学校

### ○研究テーマ

「楽しく学びあう体験的な英語活動への取組 く担任、ALT、仲間とともに」

### ○研究内容

#### ①英語活動の推進

- ・ 分からないことがあった時に、躊躇せずに聞き返したり、質問したり、分からないと言えることを大切に、学び合い教え合うことを大切に活動
- ・ 国際理解教育の視点から設定した、集会や行事等の全校活動

#### ②指導法の工夫・改善

- ・ 児童の知的好奇心に働きかけ、興味・関心が高まるような活動とそれに合わせた教材・教具の開発
- ・ 単元構成で活動を行うことで、一つの題材に深く取り組むことや、前年度の活動を振り返り、それを児童の実態に反映した活動内容の検討
- ・ 友だち同士やALT、担任とコミュニケーションを図り、楽しさを感じられるような工夫

各拠点校には本事業の趣旨を踏まえ、研究実践を積み重ねていただきました。本事業を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする児童が確実に育つているという実感を持ちました。紙幅がなく十分に紹介できませんでしたが、多くの具体的かつ効果的な手立てが提案されたと考えています。

本事業で得られた成果を生かし、平成23年度に全面実施される新学習指導要領に基づく小学校での外国語活動の進め方について、引き続き検討していきます。

## 「スーパーサイエンスハイスクール」研究指定校の成果

— 県立都留高等学校 —

都留高校は平成17年4月から、「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」に指定されました。SSHとは「理数系教育に関する研究開発、国際的な科学技術系人材の育成、高大接続の在り方の検討」を行うために文部科学省が指定した高等学校のことです。理科・数学に重点を置いたカリキュラム開発や、大学や研究機関等と連携した効果的な活動方法等について、高等学校が独自の計画で研究開発に取り組みます。これにより、若者の理科数学離れに歯止めをかけ、科学技術創造立国を目指す我が国に将来有為な科学技術人材を育成しようとするもので、現在、全国で102校が指定されています。

都留高校では「山梨から世界へ羽ばたけ」豊かな創造性と国際性を身に付けた科学者の育成を研究主題とし、教科・科目横断的な教育課程の研究開発、創造性をはぐくむための効果的な科学講座の開催及び大学・研究機関との連携に関する研究を行っています。

主たる研究の



科学英語「フェロー講演会」の様子

対象クラスとしてSSHクラスを各年次に1クラス（40名）置いて進めています。

研究内容の一例を紹介します。まず、理科・数学については「スーパー」と付した学校設定科目を開設し、時間を多くとる中で、学習指導要領の枠を越えた発展的な内容を取り込み、高大接続を意識した授業を展開しています。

英語については、プレゼンテーションとコミュニケーションのスキルアップを目指し、「科学英語」を開設しています。「科学英語」では英語で科学を読む時間をとるとともに、外国人若手研究者の方々をお招きし、最先端の研究について英語で講義をいただいく「フェロー講演会」を継続して行い、ヒアリングとコミュニケーション能力の育成を図っています。2年次生については、こうした取組が高く評価され、東京お台場で開催されるサイエンス・アゴラ（日本最大の科学イベント）でモデルクラスとしてフェロー講演会を受講することになりました。

また、大学や研究機関と連携し、地域に根ざすとともに、最先端の科学技術に触れる機会を作り、効果的な学習を進めるため、「科学講座」を開設しています。1年次の「サイエンス基礎」では最先端の科学技術に関する講演会等を行い、科学者としての在り方を学習しています。2年次の「身近な地域の科学」では、「富士山」、「リニアモーターカー」、「環境」を3大テーマとしてその研究

の在り方をそれぞれの研究者から講義を受けると共に、研修実習も行っています。3年次の「科学研究入門」ではこれまで



サイエンスツアーの様子  
「陸域環境研究センター」  
(筑波研究学園都市)

学習した成果から自ら課題を見つけてテーマを設定し、課題研究を進めています。

そのほかにも、長期休業等を利用した大学訪問研修やサイエンスツアー、企業見学等を実施しています。また、県立科学館でのサイエンスボランティア、本校主催で地域の小中学生に科学の面白さを伝える「科学の祭典」を開催する等、地域との交流にも努めています。

SSHの指定を受け、早いもので3年9ヶ月が経過しました。多くの方々の御理解と御協力を得て、本校SSHの様々な取組が定着してきたと思われまます。来年度、指定5年の最終年を迎えますが、更なる進化、継続のために努力していく所存です。

# 山梨県における「発達障害早期総合支援モデル事業」の取組

「スムーズな就学につなげるための早期からの連携・支援の在り方について」

— 新しい学校づくり推進室 —

## ○はじめに

平成19年度から、「特別支援教育」が実施されました。これにより発達障害を含む障害のある幼児児童生徒への教育的支援について、各幼稚園、小・中学校、高等学校、特別支援学校において様々な取組が行われています。

さらに、今後は早期からの支援を行うための保健・福祉機関と教育機関との連携や、スムーズな就学・進学のための幼稚園・保育所と小学校、小学校と中学校、さらに、中学校と高等学校、特別支援学校のそれぞれの園・学校間における連絡・連携をえるようなシステムづくりが課題となっています。

## ○発達障害早期総合支援モデル事業とは

文部科学省では、平成19年度から全国17地域（20年度から新たに10地域を追加）において、発達障害のある幼児とその保護者に対する早期の相談・支援体制、教育・医療・保健・福祉の各関係機関の連携システム及び乳幼児健診、就学時健診におけるスクリーニング方法の開発等を目的とした「発達障害早期総合支援モデル事業」を実施しています。

本県においては、平成19・20年度の2か年にわたって、山梨市、笛吹市、甲州市の3市を指定して、「発達障害のある幼児に対して、早期に支援を行うための総合的な支援システムの在り方について」の研究課題のもとに、実践的研究に取り組んでいます。

## ○主な取組内容

- ・「峡東地域早期総合支援連絡協議会」の設置  
事業目的、進捗状況の把握及び地域における支援体制の在り方について検討しています。
- ・各市における「発達障害連携ネットワーク会議」の設置  
各地域における実態把握、課題の整理、関係機関の連絡調整、相談・支援窓口の運営を行っている。
- ・「発達障害の早期発見に関する健診方法研究委員会」の設置  
早期発見・早期支援のための健診時のチェックシート、保育所・幼稚園で使用する支援シート、園・学校間の連携のためのサポートノートの開発を行っています。
- ・地域における幼児のための相談・支援窓口の設置  
各市の通級指導教室に、「発達相談員」（臨床心理士）を派遣し、相談・支援を行っています。
- ・健康診断時における相談窓口の開設  
保育所・幼稚園の健康診断、5歳児健康診断、就学時健康診断等に、要請に応じて「発達相談員」を派遣し、保護者等に対する相談を行っています。
- ・保育士、幼稚園教諭、保健師等に対する学習会の開催  
発達障害のある幼児にかかわる各関係機関職員を対象とする学習会を開催し、専門性の向上を図っています。

「発達障害ネットワークフォーラム やまなし」の開催

6月6日には、保護者や関係機関職員を対象として、発達障害児の早期支援の必要性と今後の在り方への理解を深めるシンポジウムや講演などによる研修会を開催しました。

## ○成果のまとめと他地域への発信

今後は、本事業の実施内容、成果及び課題についてまとめ、次により、情報の発信を行うこととしています。

- ・最終報告書の作成・配布
- ・研究成果のホームページ開設
- ・最終報告会の開催 平成21年2月27日（金）総合教育センター大研修室



# 県立考古博物館 冬季企画展「甲府市内の出土品～私の町にもこんな遺跡～」

— 県立考古博物館 —

『甲斐国志』によると「此の国上世湖なりし頃、

国司巡見ありて湖水の跡良田ならんことを考察し」と、甲府盆地が奈良時代、湖であったとの記述が見られます。当館に来館された方からも、甲府盆地中央部から出土した遺物の展示が少ないことから「盆地全体が湖だったのでは」と質問を受けることが度々ありますが、実際はどうだったのでしょうか。

甲府市内の発掘調査を30年以上にわたって実施している甲府市教育委員会の発掘調査報告書をみると、盆地北部の上石田地域で縄文時代の住居跡が発見されています。その他、徳行・高畑・宝・幸町・朝氣・上阿原からも縄文時代の遺物が出土しており、この分布から盆地全体が大きな湖であったと考えることは難しく、むしろ沼地が点在していたと考える方が自然でしょう。

今回の冬季企画展では、甲府市教育委員会の協力を得て、甲府市内から出土した古代から近世までの遺物約300点を展示します。盆地中心部からの遺物の出土はこれまであまり知られていませんでしたが、実際には数多く発見されています。

この機会に「甲府という地域」の遺跡や遺物について見つめ、「甲府という地域」を再発見いただければと思います。



かみどき 瓦寺院古代出土遺跡土器上

## ■展示の構成■

### 1 相川以西地域の出土品

(和田・緑が丘・塩部・千塚など)  
甲府市北西部には縄文時代の米草遺跡や弥生古墳時代の塩部遺跡をはじめ、榎田遺跡(奈良く中世)などが存在します。これらの遺跡に注目し、「当時の人々の暮らし」について考えます。

### 2 武田氏館跡と武田城下町

武田氏館跡やその城下町として知られる地域(山の手通り以北)から出土した遺物を展示し、「戦国時代のやまなし」を概観します。

### 3 甲府城跡と甲府城下町

甲府城の一部とされる丸の内や甲府駅周辺から出土した甲府城に関する遺物を展示し、「江戸時代のやまなし」を概観します。

### 4 横根・桜井積石塚古墳群

古墳の墳丘は一般に土を盛り上げて築かれますが、甲府市東部の横根・桜井積石塚古墳では礫石を用いて145基が造られています。今回は、横根39号墳などからの出土品を展示します。

### 5 上土器遺跡と周辺の遺跡

甲府市東部地域には、古代大規模な窯があったとされ、寺本古代寺院や甲斐国分寺に瓦を供給していたと考えられています。この上土器遺跡などを通して、「仏教との関わりと地域の暮らし」について考えます。

### 6 濁川・荒川流域の遺跡

古墳時代以降の遺跡が複数見られる濁川・荒川周辺の遺物を展示するとともに、中世から近世にかけて活躍した秋山氏や小瀬氏の館跡や善光寺境内遺跡などに注目します。

### 7 旧中道町地域

当館の所在する旧中道町地域は、大規模な古墳で有名ですが、旧石器時代から弥生時代までの遺物や住居跡・墳墓なども数多く発見されています。今回はこうした遺跡や遺物に着目し、「古代のやまなし」について再考します。

## ■企画展の概要■

開催期間：平成20年12月13日(土)

休館日：12月15・24・29・31日  
1月1・5日

観覧時間：午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)

観覧料：無料

※常設展の観覧は、別途常設展観覧料が必要です。

お問い合わせ：山梨県立考古博物館

電話 055-266-3881

http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kouko-hak/



## 子どもの体力向上に向けて ～元気アップ親子セミナー（韮崎・鳥沢・勝沼）の開催～

### — スポーツ健康課 —

#### 体格はご立派、でも体力は？

文部科学省が昭和39年から6歳以上を対象として全国的に実施している「体力・運動能力調査」があります。

この結果を年代ごとに追ってみると、子どもの体格は昔と比べ良くなっていますが、体力は昭和60年頃を境に現在まで低下傾向が続いています。

特に「走る・跳ぶ・投げる」といった基礎的な運動能力はこの10年でかなり低下していて、このままでは将来大人になっても、子どもたちの身体は、今の大人たちと同じ程度の体力にまで達することができないのではないかと、心配されています。

#### このままでは、...

特に危惧されているのは背筋力の低下です。背筋力検査は、現在、体力測定項目からなくなってしまいました。理由は背筋力の低下から検査によって腰を痛めてしまう子どもが増えてきたためなのです。



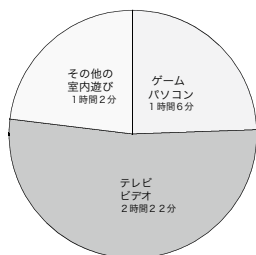
このまま今の子ども達が大人になったら、50歳代という早い段階から杖をついて歩かなくてはならないのではないかと、とも言われています。

#### その原因は

その大きな原因の一つに、今の子ども達は「外で遊ぶ」ということが少なくなってきたことが挙げられます。

テレビ・ビデオ・PC・コンピュータゲームなどメディア漬け・塾通い・変質者の出没等々、昔のように夕暮れ近くまで空き地などで異年齢集団でさまざまな遊びをし、いろいろな動きの中からバランスよく自然に体全体の筋力を高めていくという機会がとて少なくなってきました。

#### メディア漬けの実態（小学5、6年生を対象とした調査）



帰宅後、室内で過ごした時間の80%近くをメディアに使っている。



出典：日本学校保健会「平成12年度児童生徒の健康状態サーベイランス事業報告書」

#### 大人が変われば子どもが変わる！

こうした子どもたちの問題を解決するには、まず子どもたちを取り巻く環境を変えることが重要です。しかし子どもが自ら環境を変えることはとても難しいことです。

そこでこの緊急事態を打破するためにも、親である大人の意識を変えることから始めよう、そして今できることは何かを考えよう、そして半日子ども達といっしょにいろいろな運動を通して思いっきり楽しもう、ということで「元気アップ親子セミナー」を開催しました。

#### 平成20年度 元気アップ親子セミナー

「元気アップ親子セミナー」は、学校、家庭、地域が連携し、子どもの体力向上や望ましい生活習慣の形成に向けて文部科学省が推進している事業です。

今年度は山梨県下3ヶ所において開催しました。

##### ○韮崎カトリック白百合幼稚園

開催日：平成20年10月25日（土）

場 所：韮崎市民体育館

参加親子数：107組

##### ○大月市立同小学校

開催日：平成20年11月3日（月）

場 所：同小学校校庭・体育館

参加親子数：90組

##### ○甲州市立勝沼小学校

開催日：平成20年11月9日（日）

場 所：同小学校体育館・多目的室

参加親子数：52組

#### <参加者の感想>

子どもの体力向上のためには、大人の意識づけが大切だと感じました。自分の子どもの頃の遊びを思い出しながら、子どもと一緒に運動を続けて行きたいと思いました。



スポーツ健康課では、これからも子どもの体力向上に向けた取組を進めていきます。

# 放課後の子どもたちの居場所づくり

## ～放課後子ども教室推進事業～

### — 社会教育課 —

子どもたちが地域社会の中で、放課後や週末等に安全で安心して、健やかに育まれるよう、国の『<sup>\*</sup>放課後子どもプラン』が平成19年度からスタートしました。

本事業は、これに基づき、放課後の小学生の安全な居場所づくりのために、保護者の就労状況に関係なくすべての児童を対象に、地域の人材や資源を生かして体験活動や学習活動を行うものであり、平成19年度から実施しています。

### ◆放課後子ども教室とは◆

各市町村が実施主体となり、すべての児童を対象に、放課後や週末等に小学校の余裕教室や公民館など地域の公共施設等を活用し、地域の方々の協力を得ながら、勉強やスポーツ・文化芸術などのさまざまな活動を展開するものです。平成20年度は15市町村で38教室が開設されています。

#### 1 地域の方々の協力

地域の多くの方から次のような役割についてご協力をいただきながら「放課後子ども教室」が実施されています。

##### (1) コーディネーター

保護者等地域の人々に対する放課後子ども教室への参加の呼びかけ、学校や関係機関等との連絡調整、人材の確保・配置、活動プログラムの企画等を行います。

##### (2) 安全管理員

活動場所での児童の安全管理や帰宅時の安全指導を行います。

##### (3) 学習アドバイザー

児童の学習をサポートします。

##### (4) 地域のボランティアの方々

交流を通じ、児童に昔遊びや工作、伝統芸能などを教え、伝えながら児童を見守ります。



「放課後子ども教室」の様子



「放課後子ども教室」の様子

#### 2 活動内容

「放課後子ども教室」では次のような活動が行われています。

##### (1) 学び

予習や復習、宿題などの学習活動

##### (2) 体験

スポーツや文化芸術活動などの体験活動

##### (3) 交流

地域の大人や異年齢の子どもとの交流活動

##### (4) 遊び

剣玉やお手玉などの昔遊び等

#### 【子どもの声】

\*ここに来ると、友達もたくさんいて、みんなと楽しく過ごせるからいい。

\*勉強やスポーツ、昔遊びなど、地域のおじさん・おばさんたちからいろいろ教えてもらえる。

#### 【保護者の声】

\*家に帰って来ても近所に小学生がいないので、子ども教室で放課後の時間を過ごすのは本人も楽しそうだ。

\*こういう時代だから、安全安心な場所で、子どもたちを見守ってくれるのは大変ありがたい。

地域ぐるみで子どもをはぐくむ「放課後子ども教室」への御理解と御協力をお願いいたします。

#### ※ 放課後子どもプラン

「放課後子ども教室」と就労等により保護者が昼間家庭にいない概ね10歳未満の児童に対して、放課後に適切な生活の場や遊びの場を提供してその健全な育成を図る厚生労働省の「放課後児童クラブ（学童保育）」の2つの事業を一体的に実施するもの

◇「放課後子どもプラン」ホームページ  
全国の「放課後子ども教室」の事例などがご覧になれます。

<http://www.houkago-plan.go.jp/>

## ミュージアム甲斐・ネットワーク

～県内博物館等の連携による活動の活性化と利用者サービス向上を目指して～

— 学術文化財課 —

県内の美術館、博物館等が、相互に連携して活性化を図り、活動の充実や利用者へのサービスの向上を目指す「ミュージアム甲斐・ネットワーク」会員施設を紹介します。

### 身延山宝物館（身延町：身延山久遠寺）

当館は、日蓮聖人以来の歴史を有する身延山久遠寺の宝物館です。日蓮宗の総本山である久遠寺は、鎌倉時代より全国から訪れる参拝者で賑わってきました。それ故、歴史上の出来事に多く関わり、その資料群は日本の歴史を知るうえで欠かせないものばかりです。

また、武田信玄・徳川家康・徳川光圀といった一度は名前を聞いたことのある人々との関わりが深いことから、歴史に興味を持つことができると思います。さらに、身延山は信仰の山であるとともに、全山の自然美も格別ですので、諸堂の参拝や周辺の散策もお薦めです。

展示は半年に一度変わりますので、気軽にお問い合わせください。

住所：山梨県南巨摩郡身延町身延 3567

電話番号：0556-62-1011（代表）

連絡担当者：上野

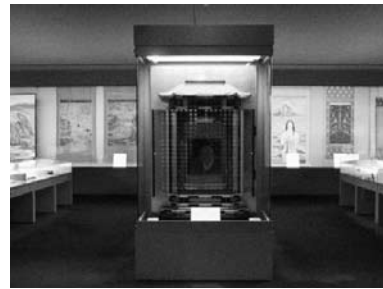
休館日：毎週木曜日（ただし祝日の場合はその翌日、4月・8月は休館日なし）

入館料：中小生 100 円、大高生 200 円、一般 300 円  
（20 名以上は割引あり）

駐車場：山内有料駐車場をご利用ください



「久遠寺本堂」



「宝物館展示室」

### 山梨県笛吹川フルーツ公園くだもの館・トロピカル温室（山梨市）

国内有数の果樹地帯である甲府盆地を眼下に見渡せる笛吹川フルーツ公園。くだもの館とトロピカル温室は、この公園のほぼ中央に位置し、ガラスドーム等で構成された博物館と温室を併設した展示施設です。

地下展示室のくだもの館では、「果樹王国やまなし」と世界各地の果物の歴史、科学、文化を映像や音声で分かりやすく紹介しています。

高さ約 20 m のガラスドームにあるトロピカル温室では熱帯・亜熱帯地域に自生するバナナやパイナップル等の果樹約 50 種類を栽培展示しています。

また、園内には江戸時代の甲府城主柳沢吉保が栽培

奨励した果物であるモモやブドウ等の「甲斐八珍果」を中心とした果樹園が整備され、散策しながら、四季折々の果樹の姿を間近に観賞することができます。

住所：山梨県山梨市江曾原 1488

電話番号：0553-23-4101

連絡担当者：清水貴志

休館日：12 月 29 日～12 月 31 日

入館料：中小生 200 円、大人 400 円

駐車場：無料、大型バス 13 台、普通車約 340 台



「くだもの館  
山梨ランドスケープ」  
山梨県を模した白地図上に投影される映像で山梨を代表する 10 種類の果物を紹介。



「トロピカル温室」  
普段なかなかみられない熱帯・亜熱帯果樹の開花・結実について観賞できる。



らくがき

「幸せを感じながら」  
堀内 玉恵

真夜中に毛布にくるまって獅子座流星群の天体ショーを仰ぎ見たのは、ちょうど十年前の今頃。まさに星降る夜の中で、家族のこと学校のこと、これからの自分のこと、様々な思いが頭の中を駆け巡った。

翌日は、腎臓摘出手術のために入院する日でもあった。ドック受診の結果、念のために勧められたCT検査で予期もしないがんを発見され告知されたのだ。「あなたは運がいい。」と言われたが「何で私が・・・」という思いの方が強く、奈落の底に突き落とされた辛い時間を過ごした。そして、その後は夫や子どもの身の回りのことをすることや、忙しい日常の日々を普通に過ごせることの幸せを骨身にしみるほど感じたものだ。

「先生、〇〇君が困ります。」「先生、早く来て。」「先生・・・」と、喧騒の毎日。悩みながらも、子どもたちと過ごす日常の日々はやはり幸せなことに違いない。「あなたは運がいい。」あの言葉が今は本当に実感できる。

この秋、宿泊ドックを受診した。とりあえず無事通過。健康はありがたい。この先の夢に向かって一日一日を大切に生きたいと思う。

(山梨市立加納岩小学校)



「きのこ中毒?」  
渡辺 利徳

茸狩りに開眼したのは20余年前、山間の小さな学校に赴任した年のことである。秋に、生徒達と山へ茸採りに出かけた。その日の収穫を、おそろおそろ(?)その日の晩のみそ汁に入れて食べてみると…、何とも驚くほどの旨味!今思えばどうやらあの茸は、旨味成分の多いことで知られるニセアブラシメジ(クリフウセンタケ)だったようだ。それからだ、「山での宝探し」とでも呼びたいような茸狩りの面白さに魅せられたのは…。

さて、茸といえば誰もが気になるのが毒茸による「茸中毒」のことだろう。実は、かくいう僕も一度だけ当たったことがある。まだ経験の浅い頃の話だ。採ってきた茸をいちいち同定することに飽きてしまった(実は一杯飲みながら図鑑と首っ引きで茸を調べていたのだ)僕は、「フウセンタケ科にはほとんど毒茸はない」と書かれた一文を目にするや、その日に採った茸を全部フウセンタケ科だと決めつけ、鍋に投入して食べてしまったのだ。すると、やはりその2、3時間後…!!! (詳細は省きます)。幸い、死に至るような猛毒の茸は含まれていなかったらしく、翌日の仕事を1日休んだだけで済んだものの、なんと一晩で3kgの体重減。(名づけて「渡辺式減量法」!?) 「一度くらいはこういうこともないと『茸採りの通』とは言えない」などと嘯いてはいるが、実のところ、いつになっても茸狩りがやめられないのは、本当に「茸に中毒」してしまったからなのかもしれない…。

(笛吹市立御坂中学校)

— 県立文学館 平成20年度収蔵品展 —

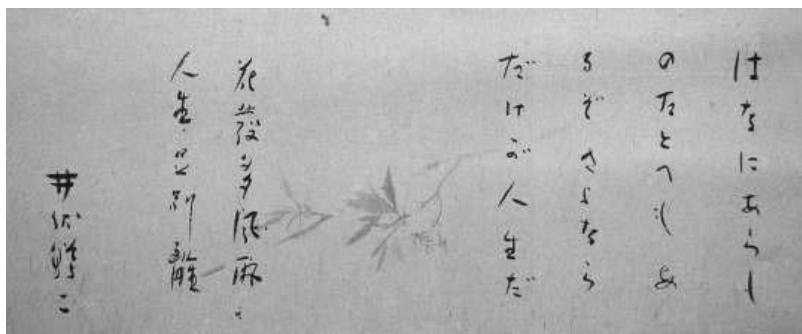
「直筆の世界 井伏鱒二・飯田龍太の書、村松定孝宛諸家書簡ほか」  
会期 平成21年1月20日(火)～3月29日(日)

「直筆の世界」展では、文学館が今年度新たに収蔵した資料を公開します。

注目される資料には、本県と縁の深い井伏鱒二直筆の書があります。「山椒魚」「黒い雨」等で知られる作家・井伏鱒二(1898～1993)は、釣りの旅、俳人飯田蛇笏・龍太親子との交流、戦時の疎開などを通じて、山梨に多くの足跡を残しました。写真は、于武陵の漢詩「勸酒」を井伏鱒二が訳した一節です。同訳は、1937年の『厄除け詩集』(野田書房刊)に収められ、名訳と言われています。井伏鱒二の資料はこの他にも、屏風、掛軸、書簡から陶芸作品まで、作家の息遣いが窺える作品が並びます。

また、市川三郷町出身で、泉鏡花研究者として知られる村松定孝(1918～2007)に宛てられた書簡から、その業績と交友、当時の文壇著名人の筆跡を紹介します。

この機会に、多くの文人の直筆資料を観覧ください。(観覧無料)



井伏鱒二「はなにあらしのたとへもあるぞ…」扁額

## かかわり合い自分の考えを表現する子どもの育成

～ 「学び合いの学習」「伝え合いの学習」を通して ～

### 甲府市立千塚小学校

本校は、甲府市北西部の静かな住宅街に位置し、学校経営に当たっては、保護者や地域、教員OBの「千羽会」等多くの方々にご協力いただいております。学校教育目標を「心豊かでたくましい子どもの育成」として、朝のあいさつ運動、清掃活動、マラソン大会等にも力を入れております。

#### ◇かかわり合い自分の考えを表現する子ども

本校では、「学び合いの学習」「伝え合いの学習」を重点に校内研究のテーマを「かかわり合い自分の考えを表現する子

どもの育成」として、子どもたちの思考力、判断力、表現力の向上を目指しています。学習指導においては、ねらいを明確にすること、学び合いのための学習環境をつくることや伝え合うことができる教材づくり等の工夫をしています。また、学びの成果を実感できる評価として、学習を振り返る「学習感想」についても力を入れていきます。こうした活動を通じ、一人ひとりの子どもが授業の中で自分なりの考えを持ち、自分なりに表現できる力を付けるための研究・実践に取り組んでいます。



全校児童が参加する「マラソン大会」



学び合いを取り入れた算数の学習の様子

## — 新聞って面白いな — N I E実践校 県立塩山高等学校

周りは一面のぶどう・桃畑の中に、シンボルの時計台を中心とした、あたかも大学と見間違えるような校舎が建っています。これが環境を重視した本校の立地です。

本校は、体育・文化両面にわたり、県内の各種大会での優勝等上位の成績を数多く残しています。また、校内に多数の芸術作品を展示する「カルチャーストリート」は、塩高文化の重要な一翼を担っています。もちろん、授業の質の向上に努めるとともに、進学課外や諸種の検定合格に向けた課外も実施し、「文武両道」の実践に力を入れていきます。

その一方で、昨今、社会全体から要請されている子どもの「生

きる力」、「自主・自立＝自律」の力をはぐくんでいく必要にも迫られています。

こうした状況の中で、日本新聞教育文化財団から、「教育に新聞を」というキャッチフレーズで知られるN I Eの実践校に認定され、今年度から2年間取り組んでいきます。全教科で新聞記事を活用し、生徒に読解力や思考力・判断力などの「確かな学力」を根付かせたいと考えています。また、新聞を通して社会に目を向け、世の中の出来事について考え、客観的な視点を持つことにより、家庭・学校・地域で、より多くの人間関係を築く架け橋となることにも期待しています。



## 学校現場に役立つ調査・研究を目指して

— 総合教育センター — 研究開発部 —

少子高齢化や高度情報化、さらにグローバル化の進行など、社会が急激に変化しています。このような時代の変化に伴い、教育基本法をはじめ教育関連法規の改正、小中学校学習指導要領の改訂が行われ、まもなく高等学校の学習指導要領の改訂も行われる予定となっています。法改正を受けて学習指導要領が改訂されるのは、戦後初めてのことであり、学校教育は大きく変わる時期を迎えています。

新学習指導要領では、知識基盤社会における「生きる力」をはぐくむことが、大切な目的となっており、特に言語活動や道徳教育、理数教育の充実、小学校からの英語活動の導入などが、今次改訂の目玉となっています。

また、喫緊の課題として、「学習意欲の低下及び学力低下」「不登校児童生徒への対応」「特別支援教育の推進」「情報モラル教育の推進」などがあります。

研究開発部では、こうした状況や課題について、実態調査及び分析・検討を行い、有効な指導計画や指導方法の研究・開発に取り組んでいます。

### ○教育課程実施状況調査について

教育課程実施状況調査は、4月に実施される全国学力・学習状況調査と連動し、教科の目標や内容に照らした学習の実施状況と、児童生徒の学習に対する意識の把握を通じ、今後の学習指導の改善に役立てることをねらいとして、毎年実施しています。調査結果の分析や考察については、義務教育課、高校教育課と連携して行っています。調

査教科は小・中学校では、国語、算数・数学、社会、理科、英語（中三）、質問紙（学校や勉強に対する意識など）とし、抽出校の小学校六年・中学校三年で実施しています。高等学校は、国語、数学、英語と質問紙での調査を抽出校の高校二年で実施しています。調査結果は、「山梨県公立小中高等学校教育課程実施状況調査報告書、全国学力・学習状況調査報告書」としてCDにまとめ、各校に配布しています。

### ○主事研究について

『「生きる力」をはぐくむ実践的な研究』を主事研究の統一テーマとし、学習指導要領や山梨県学校教育指導重点、学校現場のアンケートなどを踏まえ、研修主事各自が研究課題（主題）を設定し、研究に取り組んでいます。

本年度の研究では、各研修主事が「言語力グループ」「教育相談グループ」「特別支援グループ」「情報教育グループ」に分かれ、「言語活動の充実に向けた研究」「特別支援学級担当者が活用できるハンドブックの作成」「教育ネットワークソリューションの有効活用」など、各研究協力校の協力を得ながら、実践的な研究を推進しています。

これらの研究成果の報告の場として、平成21年2月24日（火）、総合教育センターにおいて、研究発表大会を開催いたします。今年度は本センター発足60周年にも当たり、記念式典・記念講演も計画しています。多くの皆様にご参加いただき、研究の成果を各学校の授業改善に役立てていただければと考えています。

### ○一般留学生研究について

教員の資質向上と指導力の充実を図り、各学校の校内研修や県内学校教育のリーダーとなる人材の育成を目指して、県内の教員が1年間本センターにて教育に関する専門事項について研究・研修を行う一般留学生研究を行っています。今年度は六名の留学生が、本センターの主事による指導や県内各学校の協力の下、学校現場の課題や教育の今日的課題を研究主題として設定し、研究を進めています。

一般留学生制度は、教育研究テーマの深化と教員の資質向上の絶好の機会となっています。

### ○情報・資料収集と学校支援について

本センターでは、各学校や教育機関の研究紀要や学習指導案などの教育情報を収集しています。学習指導案や各校の研究主題、本センター研究紀要は、ホームページ内の「研究開発部」のページで公開しています。教育研究文献・研究紀要・教育関係図書情報は、「教育情報データベース」から検索可能です。また、本年度は、発足60周年事業として、過去60年の研究紀要のデータベース化にも取り組んでいます。

総合教育センターでは、多くの学校や教職員に活用していただけるよう、今後とも有効な指導計画や指導方法の研究・開発、情報や資料の充実に努めて参ります。



研究紀要 第1～4集

## 『レファレンスの道具箱…テーマ別調べ方ガイド』

山梨県立図書館

### ◇ 山梨の人物について調べる ◇

#### ❁ 人名から事典類で調べる

- 『山梨百科事典』(山梨日日新聞社編 山梨日日新聞社 1989)  
山梨に関する事項や人物について50音順に掲載されています。
- 『角川日本姓氏歴史人物大辞典 19 山梨県』  
(山梨県姓氏歴史人物大辞典編纂委員会編 角川書店 1989)  
山梨の主な姓氏について、その由来、著名人、家紋などが50音順に掲載、解説されています。



#### ❁ 山梨県ゆかりの人物全般を調べる

- 『郷土史にかがやく人々』1～20  
(青少年のための山梨県民会議編 青少年のための山梨県民会議 1968～1995)  
山梨県ゆかりの著名人約100名を各分野から幅広く紹介しています。
- 『山梨「人物」博物館 甲州を生きた273人』(江宮隆之編著 丸山学芸図書 1992)  
古代から近現代までの山梨にゆかりのある人物が年代別に掲載・解説されています。
- 『山梨県人物・人材情報リスト2007』(日外アソシエーツ株式会社編集制作 2006)  
現在活躍中の人物を中心に2,227名のプロフィールや文献などを紹介しています。

#### ❁ テーマ別に調べる

- 『武田信玄大事典』(柴辻俊六編 新人物往来社 2000)  
武田家にかかわる人物(一族・家臣・商職人・僧神官ほか)が掲載されています。
- 『新編・甲州財閥物語』(斎藤芳弘著 山梨新報社 2000)  
明治から昭和初期の日本財界で活躍した山梨出身の財界人が紹介されています。
- 『山梨の文学』(山梨日日新聞社編 山梨日日新聞社 2001)  
山梨県にゆかりのある文学者143人の作品や生涯について書かれた資料で、写真も掲載されています。
- 『富士に生きる 17人の男たち(常民叢書第4巻)』(寺林峻著 日本経済評論社 1985)  
富士山・富士登山に関わる仕事をしている17人のドキュメントです。

#### ❁ 地域別に調べる

- 『高根町 郷土史に輝く人びと』(高根町郷土研究会編 高根町郷土研究会 2002)  
旧高根町にゆかりのある偉人7名の業績について書かれています。
- 『こんなひとがいた。』(東八代広域行政事務組合編 東八代広域行政事務組合 2002)  
旧東八代郡にかかわりのある人物27名について書かれています。
- ※ そのほか各「市町村誌(史)」には、その地域出身の著名人やその地域で業績を残した人物について記載されているものがあります。

#### ❁ 個人の伝記や研究書を調べる

- 『偉大な言論人石橋湛山』(浅川保著 山梨日日新聞社 2008)  
山梨県出身の唯一の首相経験者「石橋湛山」の若き日の実像などがわかる研究書です。
- 『小川正子と小島の春』(清水威著 長崎出版 1986)  
ハンセン病患者の救済活動に生涯をささげた旧春日居町出身の「小川正子」に関する資料です。

☆☆☆

☆☆☆

☆☆☆

#### インターネットで調べる

山梨の人物を調べるのに便利なサイトがあります。

『遠い散歩近い旅&山梨文学散歩』<http://fkoktts.hp.infoseek.co.jp/>

山梨にゆかりのある文学者・文学作品についてのページです。

『山梨ミュージアムガイド』<http://www2.manabi.pref.yamanashi.jp/edu/0307003085/persons.html>

山梨県内の博物館・美術館・人物の記念館情報を市町村別、50音順、人物名から検索することができます。

☆☆☆

☆☆☆

☆☆☆

※ 今回紹介した資料以外にも関連資料がございます。ぜひご利用ください。

## 県指定無形民俗文化財

### 吉田の火祭

(平成二十年一月三十一日指定)

富士山の夏山シリーズの終わりと富士北麓に秋の訪れを告げる吉田の火祭は、四百年以上の歴史をもつ祭礼です。

祭礼は浅間・諏訪神社からの御輿渡御とタイマツ点火で構成されますが、タイマツが燃えさかる八月二十六日夜はこの祭礼最大の見せ場であり、多くの観衆で賑わいます「写真」。また、翌二十七日には御鞍石の神事など古式をとどめる神事が行われ、御輿が浅間・諏訪神社に戻るまでスキの幣束を手にした人々がその後続きます。

吉田の火祭は、元は諏訪神社の祭礼であったと考えられますが、富士講の隆盛とともに浅間・諏訪両神社の祭礼という色合いが強まったと想定されます。

また、本祭礼は富士信仰と深く結びついており、祭礼の運営には富士信仰を支えた御師や富士山登拝の拠点である上吉田の人々が重要な役割を担っており、地域にとっても恒例の行事でもあります。

吉田の火祭は、諏訪信仰や富士信仰に関連した古い祭礼を現代に伝える貴重な価値を持つ文化財です。



## 主な行事予定

<p>■ 県立美術館 「ミレー館オープン!!」</p> <p>1 / 6</p>	<p>■ 県立博物館 シンボル展 「信玄境」</p> <p>12 / 17</p> <p>1 / 19</p>	<p>■ 新指定文化財展 「甲斐の国のたからもの」</p> <p>1 / 30</p> <p>3 / 2</p>	<p>■ 考古博物館 冬季企画展 「甲府市内の出土品 私の町にもこんな遺跡」</p> <p>12 / 13</p> <p>1 / 12</p>	<p>■ わたしたちの研究室 「児童生徒の考古学研究の展示会」</p> <p>1 / 25</p> <p>2 / 22</p>	<p>■ 県立文学館 平成20年度収蔵品展 「直筆の世界」</p> <p>1 / 20</p> <p>3 / 29</p>	<p>■ 資料紹介 「生誕100年 太宰治と1909年生まれの文学者たち」</p> <p>1 / 2</p> <p>4 / 12</p>
--	---	--	---	---	---	--

### 「声かけ あいさつ」みんなで実践!!

◆教育に関する疑問、質問等がありましたらお気軽に E-mail 又は FAX して下さい。

アドレス: [kyouikusom@pref.yamanashi.lg.jp](mailto:kyouikusom@pref.yamanashi.lg.jp) FAX: 055 - 223 - 1744

◆教育やまなしのバックナンバーがインターネットでご覧いただけます。

URL: <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyouiku/46150769857.html>

## 表紙を飾る

### 作品タイトル

#### 「眠れるお針子」

ジャン＝フランソワ・ミレー

1844-45年 油彩・麻布 45.7 × 38.1cm

ジャン＝フランソワ・ミレーは、1814年にフランス北西部のグリュシーという小さな村で生まれました。幼少から絵を描くのが好きだったミレーは、シェルブールで絵を学んだのち、1837年からパリの美術学校へ通いました。1845年にシェルブールで家政婦をしていたカトリーヌ・ルメールと出会い、ともに暮らすようになりました。本作品のためにポーズを取ったのもカトリーヌとされます。

若い頃のミレーは、裸婦や可愛い女性をあらわした小品を多く手がけていました。「裁縫をする女性」という画題は、ミレーが晩年まで好んで繰り返し描き続けたもののひとつです。裁縫の途中で眠りに落ちてしまった女性の右手中指にはめられた指ぬきや膝元にたれる白い糸、背後に置かれた静物など、細部まで丁寧に表現されています。

※本作品は明年1月6日から「ミレー館」で公開します。